

研究構想

- 学習指導要領総則「安全に関する指導」
- 学校保健安全法が平成21年4月から施行、「学校安全の推進に関する計画」の策定(文部科学省)
- 東京都教育委員会「安全教育プログラムの推進」
- 豊島区教育ビジョン2010 安全・安心な学校づくりの推進



学校教育目標

にっこり あいさつ
はっきり すてきなことば
やる気いっぱい 心ひとつに

インターナショナル
セーフスクール認証
平成24年11月27日

- 児童会活動スローガン「心ひとつに 安心できる 朋有小にしよう」
- 高密度都市における安全な教育環境の創造
けがデータや意識調査を基に原因分析や考察を行い、予防対策を組織的・継続的に行う。

安全教育の目標

危険予測回避能力の育成を目指し、校内及び地域社会の安全について考え、判断・行動できる資質や能力を育てる。

研究主題
危険を予測し、回避する能力の育成
——問題解決的な学習の授業実践を通して——

研究仮説

身近な事件・事故や災害を自分事としてとらえた問題解決的な学習による主体的な学びが、自ら危険を予測し回避する判断力や行動力につながる。

目指す児童像

学年	児童像
低学年	日常生活の中の身の回りの危険を予測し、回避する方法を考え、自分の判断で行動する子
中学年	身近な地域で起こる危険を予測し、回避する方法を考え、自分の判断で行動する子
高学年	今までの経験や学習から危険を予測し、回避する方法を考え、自分の判断で行動する子
竹の子学級	日常生活の中の身の回りの危険について考え、安全に行動する子

安全学習及び安全指導

生活安全

- 登下校時の安全
- 校内での安全
- 家庭生活での安全
- 地域や社会生活での安全

交通安全

- 道路の歩行と横断、交通機関の利用
- 自転車の安全な利用、点検・整備
- 交通事故防止と安全な生活

災害安全

- 火災時の安全
- 地震災害時の安全
- 気象災害時の安全
- 避難所の役割と安全
- 災害の備えと安全な生活

研究内容・方法

問題解決的な学習の授業実践

- 体験などから、自分事として問題意識をもつ。
 - けがや事故などの要因をとらえ、解決策を見出す。
 - 意見交流、発表等を通し、意識化を図る。
 - 振り返り評価する。
- 〈課題を設定する力〉
〈解決策を見出す力〉
〈協働的に学ぶ力〉
〈学び振り返る力〉

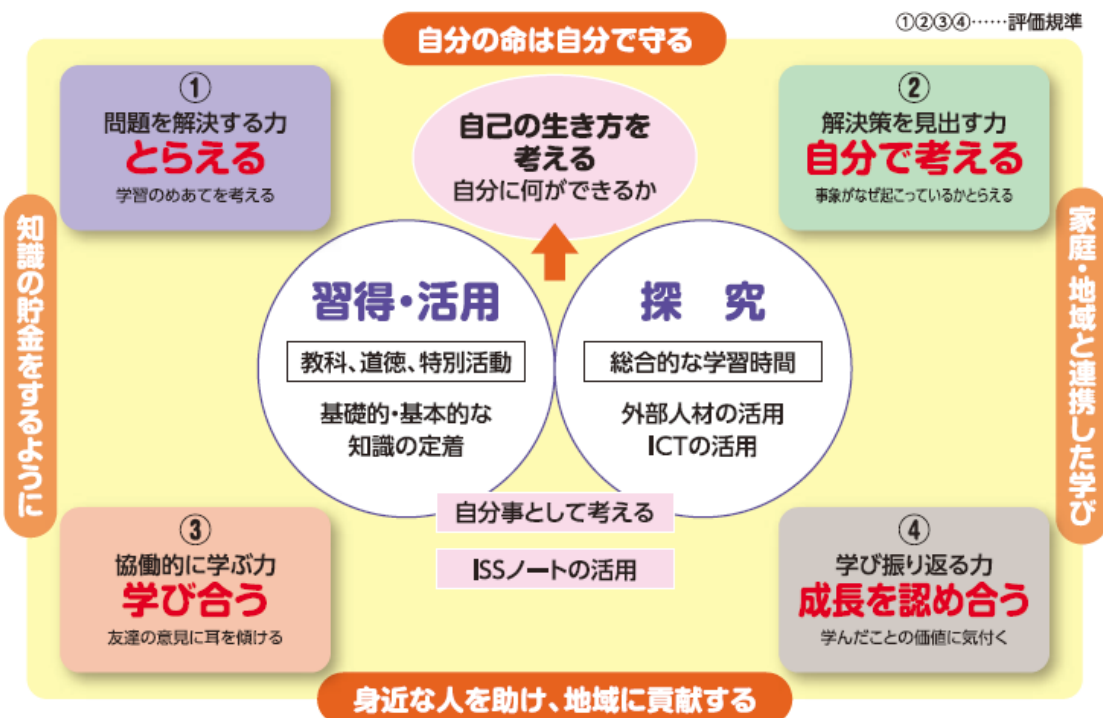
学校安全計画の作成

- 日常的な安全指導や定期的な安全指導を通じ、児童の行動化を図る。
- セーフスクール活動を児童の主体的活動として位置付ける。

児童が主役の安全文化を築く

A 安全に関する知識の獲得(生活安全 交通安全 災害安全)

【特設する安全学習】 犯罪や事故、災害等に対処するために、日常から「考える力」をはぐくむ。



B 安全行動の体得(生活安全 交通安全 災害安全)

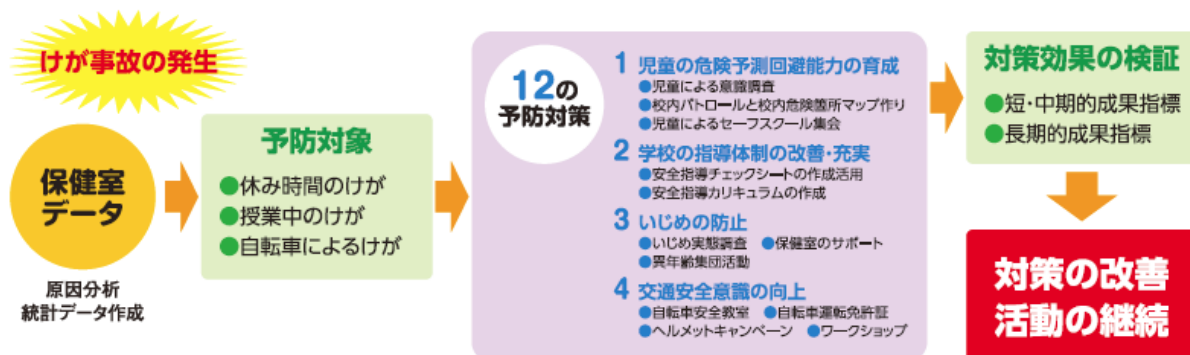
【日常的な安全指導】 【定期的な安全指導】 行動規範の必要性を考え、自らの行動を振り返る。

朝の会、帰りの会、給食、避難訓練、安全指導日、
清掃の時間の指導 長期休業日前の指導

*自らルールを守ることが他の人の安全を守ることにつながる。

C 科学的な根拠に基づいたセーフスクール活動(高密度都市における安全な教育環境づくり)

【教職員・児童、保護者、地域が協働して安全推進に取り組む】 児童の主体的な活動が安全を創り出していく。



*いじめを心のけがととらえ、予防対象とする。 月1回なかよしアンケート(いじめに関する調査)

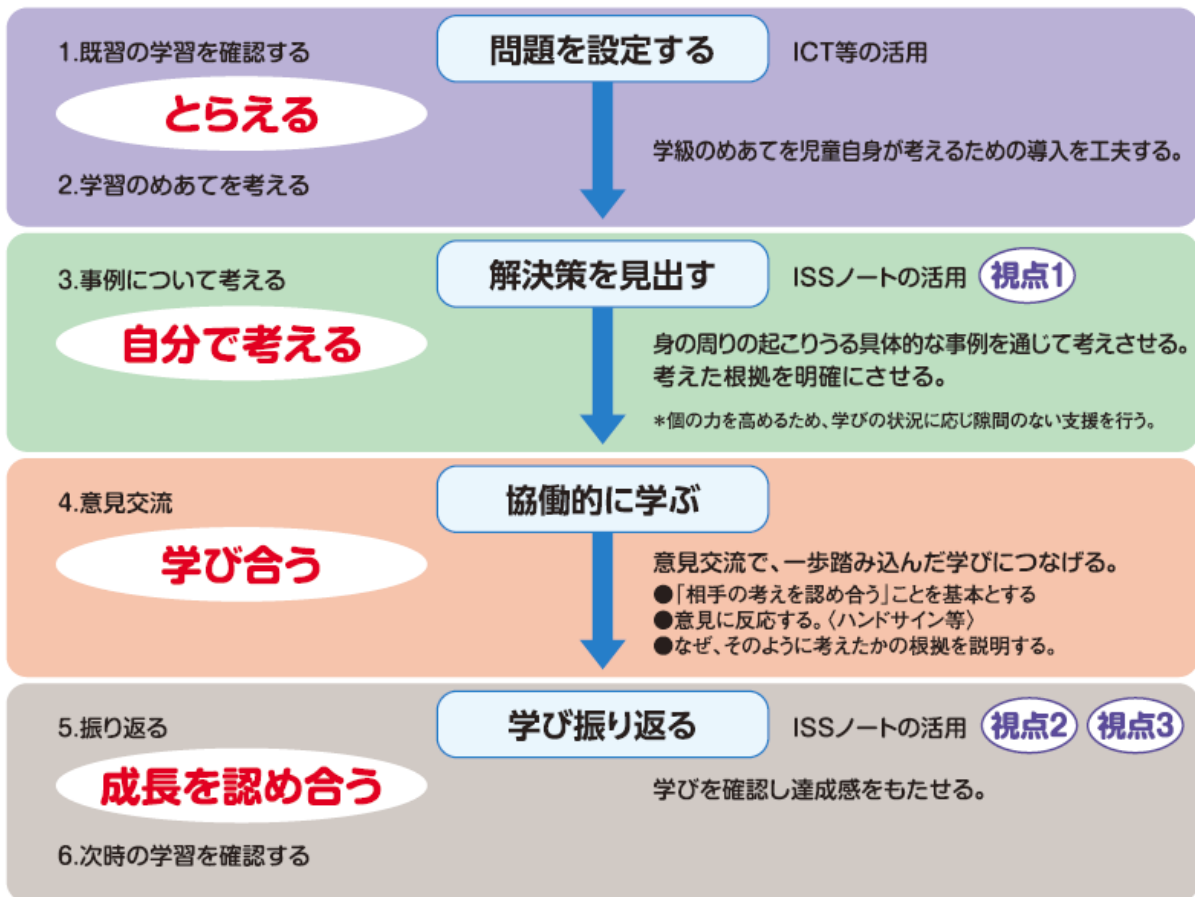
学校安全計画と指導の改善

- 【教材開発】 学区域の状況をとらえた事例を教材化する。合わせていじめ防止や道徳指導を推進する。
- 【指導計画】 必ず指導する基本的事項を押さえ、低・中・高学年に応じた年間指導計画を作成する。
- 【指導方法】 日常的な安全指導と定期的な安全指導、特設する安全指導を関連させた指導を工夫する。児童の実態に応じ、教科、道徳、特別活動と総合的な学習の時間を関連させた指導を行う。

問題解決的な授業づくり

「自分の力で考える」ことが、**自分の命は自分で守る**ことにつながる。
さらに、**自分に何ができるか**を考えてみることで、他の人の安全を守ることにつながる。

【学習活動の流れ】



ISSノートの活用

学びを書き貯め、**人としての生き方・在り方**を考えることにつながる。

学びの集積

視点1

学習問題を内在化させ、
解決策を見出す
必然性を生み出す

視点2

友達の意見に耳を傾け、
考えを広げ深める

視点3

新たな
問題意識をもつ

成長の実感

第1学年

生活安全

「学校生活の安全について考えよう！」

問題意識の内在化

水道の周りの床が水で濡れてビショビショになっていました。

自分で考える

ISSノートに考えを書きました。

学び合い

バケツの周りの雑巾絞りを通し、新たな学びにつなげました。

問題を設定する

床が水で濡れていて、すべて危ないと思います。



床が濡れていて、透明で気づきにくいことを共有したことにより、危険意識が高まりました。

解決策を見出す

蛇口をゆっくりまわして水を出しすぎないようにしよう。



要因を基に、解決策を児童一人一人が考え、ISSノートに書きました。

協働的に学ぶ

あ!私も今度は、雑巾をしっかりとしぼらなくちゃ。



自分で考えた解決策を、友達と伝え合い、共有を図りました。

学び振り返る

バケツを運ぶ時、水をこぼさないように2人で運ぼう。



児童一人一人がこれから気を付けていくことをISSノートに書き発表しました。

ISS ノートより

- これから、わたしは水をゆっくりながして、こぼさないようにします。
- 手をあらったら、ハンカチで、しっかりふきます。
- わたしは、これからぬれたところがあったら、すぐにふきます。
- ぞうきんをしっかりとしぼるようにしたいです。

第2学年

生 活 安 全

「町のセーフマンになろう！」

問題意識の内在化

写真をくいいるように見つめました。

自分で考える

実際に地域に出てみるとよく分かりました。

学び合い

地域で考えたので自信をもって発表できました。

問題を設定する



ここはこんな危険があるんじゃない？

情報を基に、2人で対話しながら考えました。

解決策を見出す



こんなところに危険があるんだね。

町探検をして、学区域での危険を考えました。

協働的に学ぶ



危険な目にあわないためにはどうすればいいのかな。

探した危険な場所から、回避方法を考えました。

学び振り返る



今日から気を付けよう！

ゲストティーチャー（保護者）のお話が心に残り、防犯意識が高まりました。

ISS
ノートより

- ① 知らない人にはついていかない。
- ② 人があんまり行かないばしょや、暗いばしょではあそばない。
- ③ 家の人に行き先と帰る時かんをつたえてあそびに行く。

第3学年

交通安全

「朋有交通安全たい」

問題意識の内在化

自転車安全教室で交通ルールを学びました。

自分で考える

道路での様子を交番でインタビューしてみました。

学び合い

調べたことを発表すると新たな疑問がたくさん出ました。

問題を設定する



踏切では、一旦停止、右左も確認してね。

交通安全教室で自転車の正しい乗り方や危険箇所を確認し、交通安全への意識を高めました。

解決策を見出す



交番や自転車屋さんでインタビューをしたり、実際に地域を歩いたりして、情報を収集しました。

協働的に学ぶ



ヘルメットを着けることの大切さが分かりました。

友達と協力し、調べたことをいろいろな表現方法で発表し、意見を交流しました。

学び振り返る



これからは、横断歩道では自転車を降りて渡ります。

学習で分かった事やこれからの生活に生かしていきたいことを伝え合いました。

ISS ノートより

- ④ 発表した後にみんなが「ヘルメットについてよくわかったよ」「これからヘルメットをかぶるよ」と感想を言ってくれたので、よかったです。
- ⑤ ぼくは、一方通行や歩行者優先などの標識の意味を初めて知りました。友達の発表を聞いて、これからは自転車に乗っているとき、まわりの歩いている人を確認してから、横断したいと思いました。

第4学年

災害安全

「チャレンジ！わが家の防火大作戦！」

問題意識の内在化

豊島消防署の方をゲストティーチャーとして招くことで、問題意識が高まりました。

自分で考える

家庭と一緒にになって我が家の防火対策を考えられました。

学び合い

友達との情報交換で防火対策について知識を広げられました。

問題を設定する



火事を防ぐためにみんなができることはないかな。

社会科「消防の仕事と人々の協力」の学習の発展で、火事を防ぐためにはどうしたらよいか考えました。

解決策を見出す



お母さんはコンロのまわりに燃えやすい物を置かないようにしていたな。

家の中を調べたり、家の人に聞いたり、資料を使って調べたりすることで、防火対策が分かりました。

協働的に学ぶ



この防火作戦は、ぼくの家でも使えるそうだな。

自分の家の防火対策を友達に伝え合うことで情報交換をし、知識を広げました。

学び振り返る



チェックシートを使って、火事をおこさないように点検します。

調べた防火対策を自分の家で活用できる形にまとめ、発表しました。

ISS ノートより

- ① 学校の防火対策を調べたり、消防署の方に「家の防火対策はどうなっているのかな」と聞かれたりして、私の家はどうか調べてみたくなりました。
- ② 家で火事をおこさない工夫を調べたら、お父さんやお母さんが教えてくれました。
- ③ 友達と情報交換したら、ぼくの家でも使えるような防火作戦が見つかりました。
- ④ 家にポスターを貼って、家族に火事をおこさないように呼びかけたいです。

第5学年

災害安全

「防災会議を開いて気象災害から身を守ろう」

問題意識の内在化

各地の気象災害の新聞記事から被害の様子を知り、驚きました。

自分で考える

ゆめのくに図書館で目的の気象災害の本から、情報収集しました。

学び合い

情報交換でなるほどと思う多くの知識を増やすことができました。

問題を設定する



関東でもたくさん被害があるんだ!

新聞記事から災害について知り、身近な場所でも災害が起こることに気がきました。

解決策を見出す



落雷で火事がおこるかもしれない。

図書館で、起こりうる危険や、身の守り方について予想を立てながら情報収集しました。

協働的に学ぶ



ここに身の守り方が載ってるよ!

友達と資料になる本を交換しながら、何を伝えるかを話し合いました。

学び振り返る



竜巻がきたら、頑丈な建物に避難します!

災害から身を守る方法について調べたことを、工夫して友達に伝えました。

ISS
ノートより

- ④勉強をして、もう一度家の防災用品の確認をしたいと思います。
- ④自分の身の守り方は分かったので、ほかの人の命も守れるようにしたいです。
- ④豊島区でもどんな災害が起きているのか調べたいです。

第6学年

災害安全

「今、大地震が起きたら」

問題意識の内在化

先生が作成した学区域立体地図を使い、大規模地震を想定しました。

自分で考える

実際に地域に出て路地裏まで歩いて情報収集しました。

学び合い

情報発信を工夫して実際の地域の課題をまとめました。

問題を設定する



どこに危険があるかな？

地図を見ながら、学区域の高層ビルや道路、地域の危険等を予想しました。

解決策を見出す



こんなところにも危険があるんだ！

実際に地域を歩く体験を通して情報を収集しました。

協働的に学ぶ



ここは、どう書いたらいいかな？

集めた情報を基に、模造紙や紙芝居などに、話し合いながらまとめました。

学び振り返る



高層ビルには、ガラスが崩れる危険があります！

まとめたことを、いろいろな表現方法で発表し、意見を交流しました。

ISS ノートより

- ④自分が住んでいる身近な所でも危険な場所かもしれないとわかりました。
- ④家の近くで危ないところがあったから、そこを覚えておきたい。
- ④これからどうやって避難するかを、もう一度家族と話し合ってみたいです。
- ④この地域で分かりにくい危険について調べてみたい。また、どうすれば良いかも考えていきたい。

竹の子学級

生 活 安 全

「考えよう！安全な校庭の遊び方！」

問題意識の内在化

新校庭のヒヤリマップにシールを貼って考えたよ。

自分で考える

校庭でいっぱい遊んで考えてみました。
危ない遊びはやめよう！

学び合い

みんなよく見つけたね。
これから、気を付けるよ。

問題を設定する



遊ぶときに危ないと思ったことがある場所にシールを貼って、ヒヤリマップを作りました。

解決策を見出す



考えたことを動作化することで、危ない遊びについて考えました。

協働的に学ぶ



体験をしたことを友達や先生と一緒に話しあって安全な遊び方を考えました。

学び振り返る



学習で分かったことや、考えたことを、これからの生活に生かしていきたいです。

ISS ノートより

- ④ ジャングルジムから飛び降りると、けがをするのでしません。
- ④ 遊びのルールを守らないと、けがをすることがわかりました。
- ④ まわりを見ないとけがをします。
- ④ 「どけよ」とらんぼうに言われると、心が傷つきます。